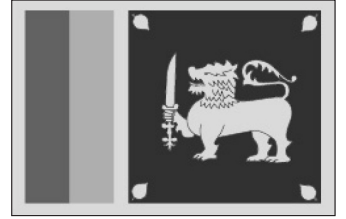


3. 研修国（スリランカ）概要

- ◆正式名：スリランカ民主社会主義共和国
- ◆首都：スリ・ジャヤワルダナプラ・コッテ
- ◆言語：シンハラ語、タミル語（公用語）、英語（連結語）
- ◆宗教：仏教徒（70.1%）、ヒンドゥ教徒（12.6%）、
イスラム教徒（9.7%）、キリスト教徒（7.6%）（一部地域を除く値）
- ◆民族：シンハラ人（74.9%）、タミル人（15.3%）、スリランカ・ムーア人（9.3%）
（一部地域を除く値）
- ◆面積：6万5,607平方キロメートル（北海道の約0.8倍）
- ◆人口：約2,103万人（2016年）
- ◆教育：5・6・2制（学校により5・8制や13制もある）で、5歳～16歳（幼稚園・1年生～11年生）が無償の義務教育期間。教育に対する国民の関心は高く、小学校第1学年の就学率はほぼ100%。ただし義務教育を修了するのはそのうちの約80%。
- ◆日本との二国間関係：輸出 262.1億円（紅茶、衣類及び同付属品、魚介類、植物性原材料等）
輸入 760.2億円（自動車、一般機械、電気機器、織物用糸及び繊維製品等）



スリランカでは、30年近く続いた紛争が2009年5月に終結したことを受け、復興需要を中心とした内需拡大や、治安回復に伴う外国人観光客の増加が成長を牽引しており、GDP比8%前後の高い経済成長が続いています。JICAは2016年までに所得倍増と中進国入りを目指しているスリランカの協力ニーズを踏まえ、民間投資を促進し、経済成長を持続していくための運輸インフラの整備や、経済格差の拡大を防ぎ地方開発を促進する農漁村振興を積極的に実施しています。また、スリランカは季節風に伴う豪雨などで自然災害が毎年のように発生する災害脆弱国であることから、災害の影響を抑える防災分野にも取り組んでいます。

（JICA スリランカ HPより）

